

- 中学校では、京都で活躍する企業等と連携し、当該企業等が抱える「正解のない問い」に対して最適解を考えさせる「課題解決型の学習」を実施する。
- 高等学校では、地元企業の経営者を講師として招聘し、事業計画書の作成・内容精査、プレゼンテーションの技能指導などサポートしていただき、「魅力ある事業で実現可能な内容」を探究する。

○中学校では、取組後の生徒アンケートより、基礎的・汎用的能力が身に付いたと実感していることが分かる。「課題解決型の学習の取組で付いた力」・意見を取り入れる力・答えのない問いに最後まで向かう力・協力したり議論する力・様々な方面から物事を考えて課題解決に向かう力・納得するまで調べる力・明確なビジョンを持って取り組む力・情報の取捨選択する力

○府学力調査でも、非認知能力・学習方法の変容が見られた。

○高等学校では、自身の考えをアウトプットするための話し方・プレゼンの仕方が聞き手の視点を意識できるようになったことで、より説得力、論理的思考力が向上し、人前で話すことへの抵抗がなくなった。

○生徒発案のエコダンテーブルが商品化され、個出荷されており、企業と生徒での共同事業契約を締結している。